

文学研究科都市文化研究センター
2024年度 米国イリノイ大学交流事業
交流シンポジウム
派遣若手研究者募集のお知らせ

文学研究科・都市文化研究センターでは、2010年代より「イリノイ大学・大阪公立大学交流事業」の一環として、交流シンポジウム旅行を企画し、若手研究者および大学院生に米国会場での研究報告と都市フィールドワークの機会を提供して来ました。

今年度の交流シンポジウムは、University of Illinois, Urbana-Champaign 会場において、2025年3月7日に予定されており、両大学の研究者が現在進行中の研究成果を報告しあい、両校の交流に益する関係を構築するために行われます。

今回のテーマは、来年11月の国際シンポジウムを視野に「日本文化の国際性（とその再考）あるいは文化比較」とし、本学に在籍する大学院生1~2名程度による英語による研究報告（20~30分）を実施すべく、発表者を公募します。

採択された派遣者には、文学研究科が英語による報告作成の支援と旅費の補助を行うほか、現地では教員が帯同する形で、シンポジウム参加および都市フィールドワークに参加（1週間）していただきます。

ご関心のある方は、**12月20日（金）17:00までに**下記の応募書類をご用意いただき、添付のうえ、参加希望・応募のメールをお送りください。

- ①200Words程度の英文発表要旨とその日本語版
- ②履歴書（様式は任意）
- ③研究業績書（様式は任意）

*応募メールには、「イリノイシンポジウム参加希望」のタイトルを付し、gr-lit-ucrc*omu.ac.jp [*を@に変えてください] まで送付のこと。

*応募者多数の場合は、都市文化研究センター（UCRC）運営委員会が選抜を行います。

本件に関するご質問は、担当教員（草生久嗣 kusabu@omu.ac.jp 都市文化研究センター運営委員）あてにお送りください。

文学研究科都市文化研究センター（UCRC）

文学研究科都市文化研究センター(UCRC)
2024年度 米国イリノイ大学交流事業
交流シンポジウム
実施要項

1. 日程と用務

- ・旅行日程 6泊7日
2025年3月5～11日（前後あり）
- ・行先
米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校（UIUC）およびイリノイ州シカゴ市
- ・交流会議・懇談会（ビジネスミーティング）
3月6日（予定）
- ・シンポジウム
3月7日（午前・午後）。研究報告1人20分、議論30分（英語による）
- ・大学訪問・都市フィールドワーク
シンポジウムの前もしくは後に、シカゴ市およびシャンペーン市内の都市文化史に関わる学術巡見を予定しています。

2. 参加者の構成

- ・被派遣者 3～4名程度（教員2名を含む）

3. シンポジウムと発表形式

- ・シンポジウム・テーマ「文化比較の諸相—日本文化の国際性再考」
文学や歴史、思想や社会、生活や人間行動、技術などを含めた広義の文化について、日本をフィールドとして含む専門研究者の見地から、様々な論点を提示していただきます。
 - ・発表形式 パワポスライドを用い、英語ベースで約20分の発表。約30分の質疑。
- *本シンポジウムは、提携主宰機関（Global Institute, UIUC）における東アジア研究者を中心とする企画であるため、参加者は日本語に堪能、日本学に関心のある人が多いです。

4. 経費等

- ・派遣出張に関わる渡航費（航空券・ホテル代）は文学研究科が負担します。
- *余儀ない事情がある場合は期間中の部分参加を認める場合があります。
- ・英語報告や旅行の準備、引率については、本プログラムについて経験豊かな草生久嗣文学研究科教授（米国シカゴ大学PhD）が対応します。Email: kusabu@omu.ac.jp

5. スケジュール（予定）

- ・1月上旬までに航空機・宿泊先などを確保
- ・1月までにパスポート、入国手続きに関する確認
- ・1月下旬に英語200語程度の発表要旨の最終版を提出
- ・随時、発表準備の個別指導や英文校閲サービスを実施
- ・出発前に3回程度の準備のためのミーティングを開催（プログラムの詳細説明や旅行手続き含む）

以上